

さつきやま魂

さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成

3月24日 第22号
文責 校長 山下



一年間、御支援・御協力ありがとうございました

本日、令和3年度の修了式を行い、1・2年生全員に修了証を渡ししました。今年度は、オミクロン株が大流行した一年でしたが、同時に、オリピックでのメダルラッシュや大リーグでの大谷翔平選手のMVPなど、日本人が大活躍した一年でもありました。お子様の一年間はとうだったでしょうか。この年代の一年間の成長は目を見張るものがあります。どの生徒も心身ともに大きく成長し、逞しくなっています。御家庭でも、どのように進歩したのかというプラス面を話題にしていただければと思います。本日の修了式の中で、私から次のような話をしました。

「令和4年度は、2年生は、いよいよ崎中の最高学年、学校のリーダー、顔になります。崎山中学校といえば、生活面、学習面、学校の行事、部活動、すべての活動において、最高学年である皆さんの姿勢や態度が注目されます。『3年生が素晴らしいから、崎山中学校はすばらしい』とよく言われます。つまり、今後の崎中は最高学年の皆さんにかかっているということになります。生徒会活動をはじめとするいろいろな活動において、さつきやま魂の自主・友愛・錬磨・勤労を意識し、巣立っていった3年生に勝るとも劣らない活躍を期待しています。そして、崎山中学校をさらに進化させてください。」

1年生の皆さん、いよいよ後輩が入ってきます。今までは、1年生だったので、「少しぐらい遅れても、少しくらいなら大丈夫。しかし、これからは後輩がいます。後輩は、1つ上の先輩を見て、必ず真似をします。一つ上の先輩がしっかりと入っていれば、後輩も自然にしっかりと入ります。つまり、新しく入ってくる後輩に、模範を示さなければなりません。そこには、責任が付いてきます。頑張ってください。そこには、最後に、明日からの春休みは短いですが、皆さんにとっては大きな節目となり、心身ともに最も大きく成長する可能性を秘めた大切な休みです。今までの自分を振り返り、ぜひ新学年に進む心構えを付けてほしいと思います。来年度、希望に満ちたスタートが切れることを期待しています。」

今年度一年間の御支援・御協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

卒業証書授与式から

3月15日、第18回(第75回)卒業証書授与式を挙行しました。感染症拡大防止のため規模縮小での実施でしたが、卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡すことができ本当に嬉しく思いました。

当日は、在校生代表の山内鈴葉さんが、先輩方への思い出を通して、気持ちのこもった送辞を行いました。また、卒業生代表の里中知矢君は、中学校生活を振り返りながら、ふるさと崎山への思いや保護者、先生、後輩、そして仲間への感謝の気持ちを「ありがとう」の言葉で一生懸命伝え、参加した全員の心にしみするすばらしい答辞を行いました。全校生徒による「大切なもの」、卒業生の「旅立ちの日に」の合唱など、一生の思い出に残る感動的な卒業式となりました。保護者の皆様はもちろん、関係する全ての皆様に感謝申し上げます。



<在校生と卒業生のエールの交換>

ジオパークに学ぶ

3月18日、1年生がふるさと学習の一環として、神爪海岸での体験学習等を行いました。市役所ジオパーク推進班の方からの説明で、五島列島のほとんどが火山によりできた土地であること、4人とも驚いていました。ふるさとについて、もっと学びたいと思ったようです。



お世話になりました

令和4年度の教職員人事異動が発令され、私を含めて3名の教職員が転出することになりました。木戸先生は初任研指導教員として、馬場先生は理科の指導を中心に2年副担任として、崎中の子どもたちの成長を願い、一生懸命に指導・支援していただきました。ありがとうございました。

転出する教職員

- 山下敏成校長(3年勤務) 翁頭中へ
- 木戸六雄先生(1年勤務) 緑丘小へ
- 馬場 惇先生(1年勤務) 新規採用で岐宿中へ

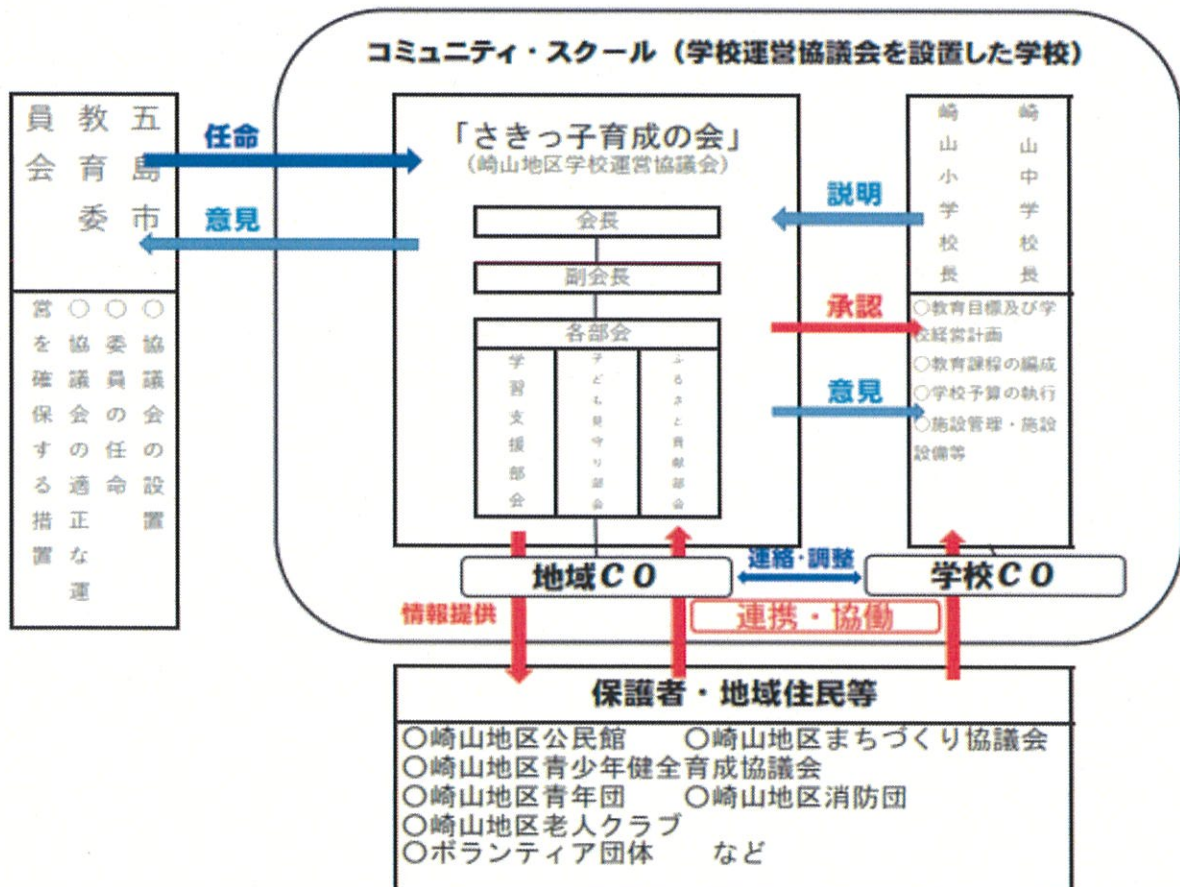
崎山中の発展を願って

縁あって六年ぶりに崎中に赴任してからあつという間に三年が過ぎた。特に、コロナ禍での規模縮小しての行事実施は強烈に印象に残った。意識したことは、感染対策を講じて、可能な限り行事等を実施することだ。子どもたちには主体性を求めてきたが、それによく応えてくれた。これからも、さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する逞しい青年に成長してほしい。崎中生と崎山中のますますの発展を心から祈る。三年間、本当にありがとうございました。

「さきっ子育成の会」の組織はどうなるの？

崎山小・中学校の学校運営協議会である「さきっ子育成の会」（第2回学校支援会議で承認済み）は、下記のような組織を予定しています。本来ならば、今年度の第3回学校支援会議で決定する予定でしたが、中止となったために、令和4年度の第1回「さきっ子育成の会」で承認していただき動き始める予定です。

崎山小・中学校コミュニティ・スクール組織図(案)



<各部会の活動内容について(案)>

- 学習支援部・・・学校行事等への人的・物的支援及び紹介を行う。
- 子ども見守り部会・・・父母と教師の会、育成協等と連携・協働し、児童生徒の安全見守り及び環境整備への支援を行う。
- ふるさと貢献部会・・・地域の伝統行事の活性化を図るとともに、地域の一員としての児童生徒の自覚を促し健全育成を目指す。

※コミュニティ・スクールは、「社会総掛かりでの教育の実現」を目指した学校です。